

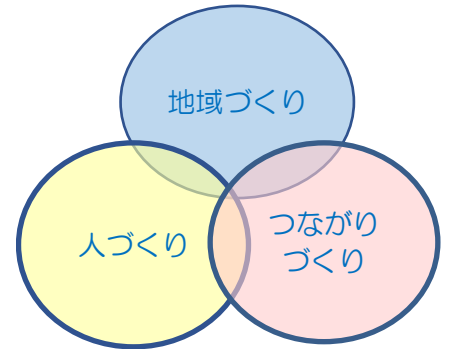
We Love ごじょう

～みんなで取り組む“支えあい”のあるまちづくりを目指して～

生活支援体制整備事業ってなあに？

少子高齢化が進み、支援を必要とする高齢者の増加や支え手が減少する中で、医療や介護の専門職によるサービスだけではなく、住民同士のつながりや助けあいを通じた地域福祉への期待が高まっています。このような背景のもと、生活支援体制整備事業は、「介護予防・生活支援」を重視しながら、住民主体で助けあい・支えあい活動ができるような「地域づくり」に取り組むものです。

五條市では、生活支援コーディネーターを配置し、市民のみなさんと一緒に、住民主体による身近な地域での支えあいを推進していきます。



例えば・・・



ご近所の五條さんが、最近足腰が弱くなっているみたいで、ゴミ出しが大変そう。

そういえば、ご近所の奈良さんは、今日楽しみにしているティサービスの日なのに公園で座っていたけど、どうしたのかしら…。



みんなで日替わりでゴミ捨てを手伝うのはどう？お互いいつもと様子が違ったら気になるね。五條さん、奈良さんの様子を見に行きましょうか！

支えあい・助けあいのある『地域づくり』が必要ね！自分たちに何かできることがないか、話し合みましょうよ！



ひとりで何かをすることは大変ですが、数人集まることで誰かを支えることができます。

他にも「電球交換」や「買い物や家事」「ゴミ出し」などのちょっとした支えあいや、外出のきっかけとなる「サロン」「食事会」「体操」など集いの場をつくることも求められています。

「何かを始めたいけれど…」そんな時はぜひ、生活支援コーディネーターにご相談下さい。



生活支援コーディネーターがお手伝いします！

話しあいの場や活動に参加し、「あったらいいね！」という取り組みを一緒に考えていきます。生活支援コーディネーター・協議体とともに支えあい活動をすすめませんか？

南垣内協議体 活動紹介

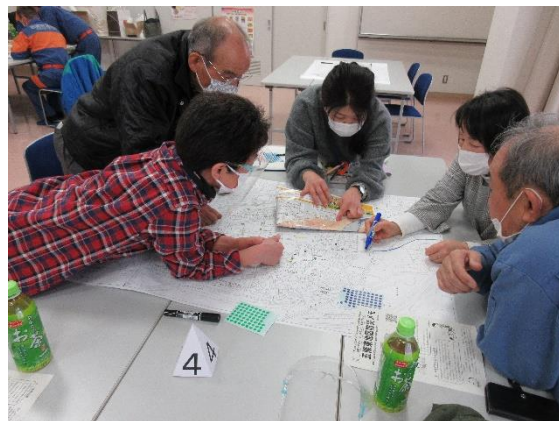


コロナ禍でもできることを考え、少しずつ活動しています。

南垣内地区では、地域の清掃活動や寄り合いのあと、お茶を飲みながら世間話に華を咲かせることが恒例でした。世間話のなかには、「近所の〇〇さん、最近足が痛いんやって」

「伊勢湾台風の際は、あそこまで水が来たんやって」そんな地域の心配ごとが多くあります。

「地域でなにか助けあいができたらな」「でも大層な活動はしんどいな」「協議体？なにか難しそうやな」そんな少し後ろ向きの意見が多いなか、正式な名称すらない助けあいの活動が始まりました。会長も副会長も会計もなく、自治会の役員さんが中心になって、地域の寄り合いのあとの世間話が、「助けあい」の話し合いの場になりました。



防災をテーマに避難経路を確認している様子

地域をまわり、アンケートをとっている様子



「災害が起きたらどうしよう？どこに逃げたらいいの？」
「ひとり暮らしのお年寄りはどうするの？」そんな声が一番多く、防災をテーマに話し合い、活動することになりました。

「防災ってなにをしたらいいの？」「危機管理課にも相談してみよう」そして危機管理課、介護福祉課、社会福祉協議会と一緒に防災マップをつくり、地域の危険な場所を理解したうえで避難経路を確認し、地域の助けが必要な住民宅をまわり、もしもの時のアンケートを取らせていただきました。少しずつですが、“支えあい”“助けあい”のある地域づくりが始まりました。

生活支援コーディネーターが住民主体の支えあい活動を推進します！

◆生活支援コーディネーターは、「地域支えあい推進員」とも呼ばれ、協議体（支えあい会議）と協力しながら、私たちのまちをより良くしていくために、地域のさまざまな活動をつなげ、組み合わせる調整役です。

◆愛着のある自分のまちでいくつになっても暮らし続けられるように、地域住民が支えあう仕組みを、みなさんと一緒につくっていきます。

【編集発行・問い合わせ先】

五條市役所介護福祉課（長寿係）
〒637-8501 五條市岡口1丁目3番1号
☎0747-22-4001（内線 249）

【共同編集】

五條市社会福祉協議会（地域福祉係）
〒637-0043 五條市新町3丁目3番2号
☎0747-24-4152